

新しい自動スキャン設定画面

2026年5月、自動スキャン設定画面を刷新します

株式会社ユービーセキュア

2026年5月、自動スキャン設定画面を刷新します

選べる2つの設定方式で、初心者は今よりも容易に、中級者は今よりも素早く設定ができるようになります。

※ VexCloudを初めて利用される方、診断を初めて行う方

※ VexCloudの利用経験があり設定方法を理解されている方

初心者向け

設定ウィザード

1ステップずつ、丁寧な解説を見ながら設定できるようになります。

※ 事前準備ガイド

サイトや関係者への調整など、スキャン前に必要な準備項目のチェックリストをダウンロードできるようになります。

中級者向け

一括設定画面

少ないステップで設定できるようになります。1画面ですべての設定ができ、また、よく使う項目に注目してスムーズに設定ができるようになります。



現状との比較

現状：1種類のみを設定画面

初心者にはマニュアルや支援サービス等でフォロー
マニュアルや支援サービスなどで、VexCloudや診断についてある程度の知識がある前提でのUI

初心者向けにガイドを強化

ページ分けされたUI
設定内容ごとにページ分けされたUI



刷新後：選べる2種類の設定画面

初心者向け 設定ウィザード
マニュアルや支援サービスで事前に知識を得ていない場合でも、画面に従えば使い始められるようにした設定方法。
サイト管理者へアカウントを配布し、サイト管理者自らスキャンを行うといった活用方法を想定。
※ サイト管理者に診断経験は不要。



設定ステップの見直しと短縮



中級者向け 一括設定画面
1画面に全設定を収めることで省ステップ化し、また、設定頻度の高い項目に注目できることで、スムーズな設定が可能な設定方法。



設定ウィザード

設定の流れ

5つのステップを順番に設定する

設定ウィザードでは以下の5つのステップで自動スキャンの設定を進めていきます。
すべてのステップを完了すると、スキャンを開始できます。

1 開始URLを設定する

スキャンの起点となるURLを入力し、接続設定と接続確認を行います。
本サイトから指定したURLに到達できることを確認してから、次のステップへ進みます。

2 スキャン範囲を広げる

ログインが必要なページや、追加でスキャンしたいドメインがある場合はここで設定します。
スキャン対象の範囲を必要な分だけ広げることができます。

3 サイトへの影響を抑える

スキャン時の負荷レベルや、スキャン対象から除外したいURLを設定します。
本番環境など、サイトへの影響を抑えたい場合にご利用ください。

4 スケジュールを決める

スキャンの開始タイミングや、スキャンを避けたい時間帯を設定します。
運用に合わせたスケジュールでスキャンを実行できます。

5 スキャンを開始する

スキャン対象がユーザ自身の管理するサイトであることを証明する所有確認を行います。
設定内容の確認後、スキャンを開始します。

特徴

- 5つのステップと、ステップごと1~3のサブステップでより親切な解説が入ることで、マニュアルや支援サービスで事前に知識を得てい場合でも、診断経験がない場合でも、画面に従えば使い始められるようにした設定方法。
- サイト管理者へアカウントを配布し、サイト管理者自らスキャンを行うといった活用方法を想定。

(活用例)

- サイト管理者へアカウントを配布し、サイト管理者自らスキャンを行う
※ 診断経験のないサイト管理者様でも簡単に始められる

一括設定

設定の流れ

こちらの7項目を1画面で順に設定する

設定項目

開始URL

ログイン

ドメイン

スキャン負荷

スキャン禁止URL

スケジュール

高度な設定

特徴

- よく使う設定（開始URL、ログイン、ドメイン、スキャン負荷、スキャン禁止URL、スケジュール）をまず設定し、そのほかの設定頻度の少ない項目は、「高度な設定」にまとめ、よく使う設定に注目しやすいレイアウト。

現状の設定と一括設定のマッピング

① スキャン対象設定

現状

自動スキャン設定
自動スキャン設定

① スキャン対象設定

検索設定 実行設定

スキャン対象設定

開始URL

プロトコル: https | ポート: 443

アクセス設定 | アクセス確認

ログイン設定

シナリオコード | 自動ログイン | ログインなし

ログイン

刷新後 (一括設定)

開始URL

https://example.com

アクセス設定 | アクセス確認

スキャン範囲を広げる設定

ログイン | ログインあり

ドメインの事前登録が不要になり、自動スキャン設定画面にて自由に入力できるように。

現状の設定と一括設定のマッピング

② 巡回設定

現状

自動スキャン設定

自動スキャン設定

① スキャン対象設定 ② 巡回設定 ③ 検出設定 ④ 実行設定

巡回設定

巡回許可 URL ②

特定の URL のみ巡回を許可する

巡回禁止 URL ②

特定の URL への巡回を禁止する

巡回タイムアウト時間 ②

巡回タイムアウト時間 (秒)

36000

検出 URL 数上限 ②

検出 URL 数上限

150

高度な設定

別タブ・別ウィンドウで開くページも巡回する ②

戻る

巡回許可URL

巡回禁止URL

巡回タイムアウト

検出URL数上限

別タブ・別ウィンドウで開くページの巡回

刷新後 (一括設定)

巡回設定

巡回許可 URL

巡回禁止 URL

巡回タイムアウト時間

検出 URL 数上限

高度な設定

② スキャン禁止URL ②

特定のURLへのスキャンを禁止する

② 高度な設定 ②

診断の詳細な動作を設定します。値を変更した後に推奨値へ戻したい場合は、「推奨値に戻す」を選択してください。

推奨値に戻す

① 許可URL ①

② 巡回タイムアウト時間 (秒) ②

360000

② 最大URL数 ②

500

② 巡回のみ / 検査する ②

検査する

② 検査パターン ②

スタンダード

② PFスキャン ②

する

② 別タブ・別ウィンドウの巡回 ②

する

変更頻度の少ない設定項目は「高度な設定」へ移動

現状の設定と一括設定のマッピング

③ 検査設定

現状

自動スキャン設定
自動スキャン設定

スキャン対象設定 巡回設定 検査設定 実行設定

検査設定

検査する 検査しない (巡回のみ実行)

Webアプリスキャン

検査パターン選択

スタンダード (標準)

スタンダード (標準)
Webアプリケーションの標準的な脆弱性をカバーした検査パターンです。
サービス品質や特定の定期更新など、品質を重視して検査を行いたい場合にご利用ください。

リクエスト送信間隔

リクエスト送信間隔 (秒)

0

プラットフォームスキャン

プラットフォームスキャンを実行する

戻る

検査する/巡回のみ

検査パターン

リクエスト送信間隔

プラットフォームスキャン

刷新後 (一括設定)

サイトへの影響を抑える設定

スキャン負荷

並列度設定

無し (0) 低 (1) 高 (5)

検査リクエスト送信間隔

リクエスト送信間隔 (秒)

0

高度な設定

診断の詳細な動作を設定します。値を変更した後に推奨値へ戻したい場合は、「推奨値に戻す」を選択してください。

推奨値に戻す

許可URL

巡回タイムアウト時間 (秒)

360000

最大URL数

500

巡回のみ/検査する

検査する

検査パターン

スタンダード

PFスキャン

する

別タブ・別ウィンドウの巡回

する

リクエスト送信間隔は、
並列実行を無しにした場合に、
さらに負荷を抑える設定として
設定可能。

変更頻度の少ない設定項目は
「高度な設定」へ移動。

現状の設定と一括設定のマッピング

④ 実行設定

現状

自動スキャン設定
自動スキャン設定

✓ スキャン対象設定 ✓ 追加設定 ✓ 検索設定 ④ 実行設定

実行設定

並列実行①

並列実行無し

並列度設定

スキャン開始時刻②

🔍 すぐに開始 🕒 時刻を指定して開始

スキャン開始時刻

操作予約 (中断・再開)③

+ 操作予約追加

中断・再開の予約

戻る 🔄 スキャン開始

刷新後 (一括設定)

スキャン設定

スキャン負荷④

並列度設定⑤

無し (1) 低 (3) 高 (5)

スケジュール⑥

スケジュール実行

スケジュール調整はグラフィカルで直感的に。

詳細確認・設定変更

🔍 操作予約検索 🕒 時刻を指定して開始 🔄 スケジュール確認

📅 スケジュール確認

📅 スケジュール確認

日時	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
3/26 (日)																									
3/27 (月)																									
3/28 (火)																									
3/29 (水)																									
3/30 (木)																									
3/31 (金)																									

🔄 スキャン開始

事前準備ガイド

- サイトや関係者への調整など、スキャン前に必要な準備項目のチェックリスト（Excel形式）

トップ画面からダウンロード可能
新しい自動スキャン設定画面のトップ画面からダウンロード可能。

スキャン影響を抑える準備

スキャン影響を理解し対策を講じます。

※ 自動スキャンはスキャン対象のサイトへ高精度なアクセスや疑似的な攻撃を行うため、サイトや業務に影響を及ぼします。

サイト負荷

- スキャン対象サイトが、秒間リクエストまで耐えられるか確認する
 - ※ ここで確認した値をもとに、VexCloudにてリクエスト頻度を抑える設定を必要に応じて行ってください。
- ログ保存領域に十分な空きを確保する
 - ※ 通常とは異なるアクセスが繰り返される、大量のエラーログが出力されることが想定されます。ログ保存領域が埋められサイト等が停止しないよう確保してください。

業務影響

- （データ登録機能がある場合） 関係者へ周知する もしくは データ登録機能をスキャン対象外にする
 - ※ 短時間で多くの登録処理が発生し、登録状況の集計などに影響が出る場合があります。関係者へ周知しスキャン時のデータを除外するなどをご検討ください。
 - ※ 許容できない場合は、指定したURLをスキャン対象外に設定できます。
- （メール送信機能がある場合） 関係者へ周知する もしくは メール送信機能をスキャン対象外にする
 - ※ 短時間で多くのメールが送信され、メールサーバーへ負荷やメールボックスが溢れるなど、本来のメールの送受信に影響が出る場合があります。関係者へ周知しスキャン時のデータを除外するなどをご検討ください。
 - ※ 許容できない場合は、指定したURLをスキャン対象外に設定できます。

データ破壊

- バックアップの取得と、バックアップからの復元テスト
 - ※ 通常とは異なるアクセスによりWebサイトや利用しているデータが破壊する可能性があります。バックアップの取得と、復元テストを行ってからのスキャンを実施してください。

アラート発生

- （WAF/IDS等の監視がある場合） VexCloudのIPを監視対象外にする
 - ※ 疑似的な攻撃アクセスが行われるため、不正アクセスとして検知され、本来の検知が埋もれてしまう可能性があります。
- 関係者への周知
 - ※ スキャンによるアクセスが不正アクセスとして検知されインシデントとして扱われないよう、関係者へ周知します。

外部とのトラブル・訴訟

- （外部サービス上にサイトを構築している場合） 事業者から許諾を得る
 - ※ （外部サービスの例）レンタルサーバー、AWS等のクラウド基盤、Akamai等のCDN等

スキャンを正常実行させる準備

サイトの稼働を保障する



FAQ

- 質問：旧画面と新画面の並行期間はあるか？
 - 回答：ございません。リリースのタイミングで新画面に一斉に切り替わります
- 質問：登録済みのスキャン設定は自動で「一括設定画面」に引き継がれるのか？
 - 回答：旧画面で設定した値は新画面にも引き継がれ、「設定ウィザード」「一括設定画面」両画面の初期値となります。
- 質問：サポートサイトのマニュアルも更新されるか？
 - 回答：リリースに合わせてマニュアルも更新予定です。